

令和6年 第1回教育委員会（会議録）

令和6年1月17日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

出席委員確認

教育長 三品芳則

教育委員 古田博英

教育委員 兼松 悟

教育委員 原口かおり

教育委員会事務局 教育課長 堀部芳章

教育委員会事務局 こども課長 岩井正義

教育委員会事務局 教育課主幹 若泉貴弘

（欠席）教育委員 金武千秋

付議事件説明

教育委員会事務局 教育課主任 小島瑞貴

※教育長が開会を宣言する。

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長 12月15日、坂祝中学校の文化発表会がありました。11月の加茂郡中学校音楽会に続いて、合唱が発表されました。生徒が主体となって取り組みが行われ、生徒たちの歌声を久しぶりに聞くことができました。コロナ禍の影響により、合唱という学校文化を知らない学年ばかりになってきていますが、これをきっかけに仲間づくりや学級づくりにいかしてほしいと思います。中学校3年生も2年生も割と歌えるようになってきたと聞いております。今度の新入生半日入学であるとか、4月の新入生歓迎会であるとか、そういった時に上級生が小学6年生、中学1年生に合唱を聞かせる機会を作っていきたいと話しておりました。12月19日、坂祝町学校の将来のあり方検討委員会がありました。11月の北方学園への視察を振り返りながら、これまでのグループ討議をまとめるような形で全体交流が行われました。どのような学校の形態がよいのかという点においては決めかねる部分がありますけれども、小学校中学校が近くにあることが大切かなという方向になってきたように思います。次回、第5回の坂祝町学校の将来のあり方検討委員会では、一応の答申をまとめる予定になっております。また、よろしくお願ひします。12月21日、可茂地区教育長会がありました。その中の所長講話の中で2つお話をさせていただきます。1つは、令和6年度岐阜県公立小中学校管理職任用候補者選考第二次選考について、令和5年度末の校

長退職者が非常に少ないということもありますので、校長教頭への昇進はいわゆる狭き門ということになります。合否も大切ではありますが、今回の管理職登用等における試験や選考を通して、それぞれのミドルリーダーの方が自分を振り返って、自己課題や今後の目標を自分で見出すことにも意味があるのだと、教育研修が主催のスクールリーダーに向けての研修への参加を促すなど、それぞれの校長先生方が、次のリーダーへの支援指導を期待しているという話がありました。2点目に関しましては、定期人事異動業務に関わり進めることについて、3点重要課題として挙げられました。1つ目は、全国的に話題になっている教員不足です。坂祝小学校でも、いまだに1名の欠員があるわけですが、未補充の解消。それが一丁目一番地でございます。2つ目は、公正公平の担保。3つ目は、個別対応です。特例のイレギュラーな異動に関わってはきちんと協議をした上で記録を残して、その後の対応について見通しをもてるような状況にし、異動を成立させていくというような話がありました。これから人事異動が始まっていきます。教育委員の皆様には、後日、臨時教育委員会会議において、坂祝小中学校の異動について承認していただく運びになりますのでよろしくお願い申し上げます。2月22日、坂祝町議会の北方学園義務教育学校視察ということで、教育委員さんも誘っていただきましたので、私たちも視察に行き参りました。北方町立北学園及び南学園視察を同行させてもらったわけですが、特に北学園の校長先生とは、以前から私は知り合いであったものですから、実情を聞くことができました。昨年までは授業に入れないような生徒が複数名いましたが、義務教育学校になって、下学年から見られるとか、しっかりしなければいけないというような思いから、中学校の上級生が芽生え、そういった子が卒業したということもありますが、それでもやはり中学校の上級生は義務教育学校の上級生としてプライドをもって学校生活を送っていて、大変落ち着いているという話がありました。ただ、大規模校ということもあったので、職員をまとめていくことはとても大変だと言っておりました。1月7日、二十歳を祝う会がありあした。教育委員の皆さんにも出席をしていただきました。本当にありがとうございます。今後、こういった式典等につきましては、教育委員の皆様にも出席をしていただくことになっていきます。さしあたっては卒業証書授与式、来年度の入学式についてもご案内をさせていただく予定でありますので、よろしくお願い申し上げます。式典につきましては大変落ち着いて穏やかな雰囲気の中で行われました。その後のヘリコプターによる遊覧飛行も無事に終了することができました。3学期が始まって小中学校ともに落ち着いたスタートが切れました。少し小学校の方でインフルエンザ罹患者が増えております。1年生の1組で今日から今週いっぱい学級閉鎖ということになっています。6年生でも若干名いますが、今のところそれ以上の広がりはありません。学級閉鎖は、今のところ1年生で1クラスあるという事は聞いております。中学生においては今のところコロナもインフルエンザも広まっているということはありません。

何とか3年生の進路に向けて健康状態を保ちながら学校運営しているという報告を受けております。私からは以上です。

古田教育委員 この1カ月に印象に残っているのは、北方学園の視察でございます。どこが印象に残ったかという、教育長の報告にもありましたが義務教育学校にするために非常にスピード感がありました。議員さんなどもスピード感がすごいということをおっしゃられていましたが、逆に、何でもやろうと思えばできるのではないのでしょうか。スピード感は大切でしょうが、首長が数年か前に、このような方向にいくのだと方針を出されて、急速、このような流れに沿ってやってきたという印象をもちました。どれくらい議論がなされたのか、首長が手を挙げられたときに、義務教育学校の何に魅力を感じたのか、それを聞いてみたいなと思ったくらいです。今まで白川郷学園とか、厚見小中学校とか見させていただきました。白川郷学園は地域性があり、義務教育学校にした意図は、わかるのですが、厚見小中学校の場合、あそこは義務教育学校ではなく小中一貫校ですが、校長先生ご自身が、これ以上何か無理をしてやって、自分たちで自分たちの首を絞めるようなことはしないとおっしゃっていたのが印象的でした。やはり、先生方がただ楽ではだめだと思いますが、あまり過度に負担になるような状態では、それはよくないであろうと常々感じております。その辺を考えたときに、北方学園の場合はどういったところに魅力を感じ、どういったところに方向を向けたのか知りたいなと思いました。よく柔軟なカリキュラムができるとは書いてありますが、あのような学校を見に行っても、一体どのような柔軟なカリキュラムが実践されているのかまではわからないので、そういったカリキュラムもこれから作っていくのだろうけれども、私自身が見たところではそういったところまでは見ることはできませんでした。その上で北方学園の校舎を見たときに改修前からずいぶん贅沢な作りでした。ずいぶん贅沢なデザインで京都の水道橋のようなアーチ状のものがあって、そういうのがあったときに違った見方をするように途中からなってきました。よほど経済的に財政力のある地域なのではないかと感じました。何か新しいことをするというその方向だけが強くて進むのはどうなのかなと私は正直思いました。それが一番印象的でした。ただ坂祝町の場合は、町が坂祝町学校の将来のあり方検討委員会のようなものがありまして、本来はそれが原点だと思えます。そこからスタートしているわけで、坂祝町の場合は整っているなということをおもいました。以上です。

教育長 北方学園の補足をする、計画ができた当初につきましては、小学校の児童数の減少がありまして、北と南のアンバランスが出てきて、再編が必要だということがきっかけだと聞いております。中学校が1つだったものをわざわざ分けて2つの義務教育学校にしたというように聞いております

兼松教育委員 なんとといっても1月1日の能登半島地震で携帯電話は鳴り、警報音は鳴り、私の家にはその時、孫が家にいましたが、吊るした電気が揺れ動きました。今、能登半島地震の実態が明らかになるにしたって、本当に大きな地震だっ

たなと思います。土砂崩れとかそういった事故が起こっておりますので、私は坂祝町のハザードマップを見ると土砂崩れの危険も結構あるということがわかりました。以前、郷部会館の辺りの道路で水が溢れたとき、教育委員会の堀部課長に水が出ているところを処理していただいて、教育委員会が対応した時、あの時の動きがとても早かったなと思いました。学校現場は地元を知らない人が多いので、やはり教育委員会が先頭に立って動いていただけるのはありがたいなと思いました。このように通学路の安全点検というのは年に1度、警察官も交えてやるということを聞いていますので、今度また8月にやると思いますが、そういった視点から車の量だけではなく、安全に関する土砂崩れや水に関して災害についても見直しをしていく必要があるのだなと思いました。それが1番私は今年最初に思ったことです。そう考えていくと、能登半島へ旅行に行っていた子がいるとすると私が現役の時に何を感じたかという、以前、半島に社会見学に行った時に、子どもたちが携帯電話もない時代、今のように音が鳴るようなことはありませんでしたが、そこで多くの方が亡くなったわけですが、そういったこともあり得るので、こういった災害的に学校現場も防災教育をするチャンスだなということを感じました。私もそういったことを現役の時にしたときには、海岸に行く研修があるのですが、海には近づかずに外から眺めていて管理をしていかなければならないことと、もう一つは、海岸に行くのと離岸流というものがあるということも聞きまして、子どもには社会見学もそうですが、海に行くから海の近くに行ったら、能登半島に行った子もいるかもしれませんが、本当に気をつけなければならないということを思いましたし、学校にまでそういった教育がされているということもありがたく思います。

原口教育委員

12月22日、北方学園に行かせていただきました。古田教育委員さんがおっしゃっていた通り、北方学園の建物についてですが、建築関係にいてもありまして、逆に、建物があつたからこそ、あそこまでスピード感をもってやることができたのではないかと感じました。今、テレビでも移住生活などがやっております、北海道の東川村という所がありまして、テレビでも特集として挙げられておりました。たまたまセントレアの方に行った時に、町で移住者募集ということがありまして、東川村では小学校の校舎を紹介しておりました。全室平屋でございました。1000坪位の土地に、廊下がとても長く、野球場もあり、北海道という土地柄もあり、広大な土地に建物があり、そこで授業が行われているということがあり、そこで子どもを教育させたいと連れて行って、そこで教育をすれば本当に良い子に育つのだろうかと思いました。今、坂祝町もそういったところから始まっているのかなと思いました。坂祝町に今後、人を集めてみるとか、そういったところにも注目をしていくのか、今いる坂祝町にいる子どもたちを、いかに育てていくのか、その方向性がどうなっていくのかなと思いました。昔から、坂祝町は小さな町ですが、経済的には結構潤っていて、そのためか、他者を受け入れるということに弱さがあつたのではないかと思います。50年前に坂

祝町の来た方でも、よそ者というような、あの人はよそ者だからというようなそういった年代の方もみえます。やはり魅力ある町づくりは建物ということで視覚的にも大切かなと思いました。たまたまですが、先日の二十歳を祝う会では、実行委員の一人が私の甥っ子ということもありまして幼稚園の頃から中学校までつくんこ教室でお世話になりまして、コミュニケーションがうまく取れないということと、物事を立体的に考えるのが難しいということで、中学校までの授業で本当に苦勞して、感情の起伏が激しくて、つくんこ教室に行かしていただいたことが本当に良くて、お母さんへの指導もあるし、本人の指導も細かくやっていただいて、成果が出たということで、叔母ながら涙が出てきました。思わず動画を撮って母に送ってしまいました。本当に良い町で育ててもらえて幸せだなとしみじみと感じました。

日程第4 議事

(付議事件)

議案第1号 坂祝小学校準要保護児童の認定について

※教育課主任が資料に基づいて報告をする。

(個人情報が含まれ、個人が特定されるため掲載を控えます)

(報告事件)

報告第1号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可事業の終了報告について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第5 その他

○当面する教育関係諸行事について

○その他

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前10時30分

教育委員会会議終了後、坂祝町子育て拠点支援施設（バンビーニ）見学